空気より軽い 12A・13A ガス用

W735CT_(00)_

COSMOS ネットワーク機能付き

家庭用 快適ウォッチ SMART

快適環境おしらせ

ガス・CO警報器

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格

型式名 **XW-735**

取扱説明書 保証書付

ネットワーク機能は、以下の内容に同意したうえでご利用ください

本警報器は、お客さまの快適環境(常時換気の確保)とインターネット環境、スマートフォン環境、お客さまの無線LANルータ(以下、ルーター)を利用することで、サーバーに情報のやり取りを行い、各種機能を提供することができます。
インターネットに接続すると、警報器の稼働状況や警報器が検知・感知したセンサのデータを、サービス情報を配信するサーバー(以下、サーバー)へ自動的に送信します。これらの情報はお客さまへの各種情報提供に協力し、警報器の稼働状況の確認や、商品、サービスの開発、改良などの目的で使用されます。
ご同意していただいたうえで、警報器とルーターの接続設定を行ってください。詳しくは、アプリをインストールされた側にスマートフォンやタブレットの画面上に表示される、サービスの「利用規約」をご覧ください。

- ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書はガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでも見ていただけるように工夫してください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。

<ガス・CO警報器について>

- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報やCO警報機能が働きません。
- 「熱中症おしらせ機能」は、警報器周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し休憩警報などにお役立ていただくものです。熱中症を防止できるものではありません。
- 「乾燥おしらせ機能」は、警報器周囲の環境条件から空気の乾燥をお知らせし健康管理などにお役立ていただくものです。インフルエンザなどを防止できるものではありません。
- 本警報器は、ルーターと通信を行うことで、サーバーと情報のやり取りを行うことができます。ルーターの仕様、セキュリティ設定については、ルーターの取扱説明書をご確認ください。
- 全てのルーターとの接続や、いかなる通信環境での使用を保証するものではありません。お客さまがおいかルーターによっては、警報器との接続・通信ができないかつ、接続・通信に時間がかかったり、ご使用時の一時的な通信断が発生する場合がございます。ご了承ください。
- 本警報器は、スマートフォンまたはタブレットを用いて警報器をサーバーに登録することができます。インターネットにアクセスすることや可能な情報端末を準備してください。
- 警報器がサーバーと通信するため、インターネットの通信費がかかります。インターネット、スマートフォンの利用に関しお料金は、お客さまのご負担となりますのでご了承ください。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(鉄道関係機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本警報器のサーバー通信に関するソフトウェアは日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

<コネクトセンターについて>

- 本製品にはBluetooth通信を使用して、ドアの開閉検知や、傾斜確認、温度、湿度などを測定できるコネクトセンターがついています。
- コネクトセンターを利用するためには、コネクトアプリの登録が必要です。
  コネクトアプリではコネクトセンター1個につき使用できる機能は1つです。
  コネクトアプリではコネクトセンターの機能を選択し、使用してください。
- コネクトセンターを使った様々なサービスは、コネクトセンターが検知した情報により、防犯対策等の安全管理や衛生管理などに お役立ていただくものであり、事故や犯罪、生活の中で起こる病気、熱中症などを必ず防止できるものではありません。
- コネクトセンターは、無線で電源プラグを使用しています。
  設置場所によっては電波が届かない場合、他機器に電波影響を与える、または他機器からの電波影響を受けるお可能性があります。

<サーバーからの各種情報の提供(以下、サービス)について>

- 本警報器は、サービスの確実な提供を保証するものではありません。
- お客さまの通信環境などにより、サービスの一部または全部が提供できない場合があります。
- 予告なくサービスの一部、または全部が変更されることがあります。

<無線LAN通信に関する注意>

- 本警報器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
  - 本警報器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本警報器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。
  - その他、本警報器から移動体識別用の特定小電力無線局やアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。

<電波法に関する注意>

- 本警報器は、電波法に基づく特定小電力無線機器として技術適合証明を受けています。従って、本警報器を使用するときに無線局の許可は必要ありません。
- 本警報器は、電波法に基づくデータ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
- 本警報器は、日本国内の電波法に準じていません。日本国内でお使いください。

<警報器と接続するルーターについて>

- ルーターはお客さまでご準備ください。
  モバイルルーターやテザリングでご使用いただけません。
- ルーターのセキュリティに関する設定を「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA2」の暗号化方式に設定してください(「WEP」の暗号化方式にも対応しておりますが、情報セキュリティの観点から推奨いたしません)。これら以外のセキュリティ設定を行うと、警報器とルーターが接続できません。またルーターのセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。
  無線あるいは第三者が、無断で個人のネットワークにアクセスし、
  - 個人情報や機密情報を取り出し、データやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう。
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
  - 他者に不適切な内容を書き込んで発信する(不適切な情報)
  - コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう。

本警報器(コネクトセンサーを含む)に関して生じた損害について、当社に責めがある場合又は法令上責任が発されている場合を除き、当社は一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さま や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ず お守ください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている場合、以下の内容を必ず守ってください。
火花などにより、爆発の恐れがあります。

- ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。
- 火気厳禁
- 禁止
- 必ず行う
- マッチやライターなど、火気を使わないでください。
- 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。
- 禁止

CO警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

- 必ず行う
- CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 禁止
- 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

- 禁止
- コネクトセンサー、マグネットは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
  誤って飲み込んだ場合は、死に至ることがあるため、直ちに医師の診察を受けてください。
- 禁止
- コネクトセンサーのコイン電池を口に入れないでください。
  誤って飲み込んだ場合は、電池内部の電解液によって中毒が引き起こされる恐れがあります。

⚠警告

- 必ず行う
- 常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。
  ガスもれしていないときにガスもれ、COが発生しても、警報を発しませんね。
- 必ず行う
- 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
  誤動作または正常に作動しない恐れがあります。5年を経えて長期間ご使用されますと、電源プラグ(予備コンセント含む)がほこりや水分の影響により発電・発火する恐れがあります。
  有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。
- 必ず行う
- 殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.10～11参照)
  - 警報器をポリ袋などで覆ってください。
  - 殺虫剤の使用が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除いてください。
  - 誤作動または不作動の原因となります。
- 水ぬれ禁止
- 警報器や電源プラグ(予備コンセント含む)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
  感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。
- 分解禁止
- 分解や改造はしないでください。
  故障の原因となります。また、電波法に基づく特定小電力無線機器の分解や改造は法律で禁止されています。
- 禁止
- 衝撃を与えないでください。
  故障の原因となります。
- 禁止
- 警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。
  ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。
  警報器以外の電気製品を誤作動させるおそれがあります。警報器の電源プラグに付属の専用コンセントを使用してください。
- 禁止
- 電源コードにステップしやぼりなどを打たないでください。
  火災の原因となります。
- 禁止
- ガス検知部は、絶対にふさがないでください。
  ガスもれまたはCOを検知しなくなります。
- 禁止
- 燃感知式住宅用火災警報器に用いられる炎検知器を噴霧しないでください。
  ガスセンサの故障の原因となります。

電源プラグや予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

- 必ず行う
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
  火災の原因となります。
- 必ず行う
- 警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
  感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。
- 必ず行う
- 予備コンセントには、消費電力が1490W以下の機器を接続してください。
  1490Wを超えると火災の恐れがあります。
- 必ず行う
- 予備コンセントに接続する他の電気製品は、必ず電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。
  感電の恐れがあります。
- ぬれ手禁止
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。
  感電する恐れがあります。
- 禁止
- 警報器の電源プラグに水をなかけないでください。
  (例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)

- 禁止
- コネクトセンサー、マグネットについて
  - 真鍮、発熱、発煙などの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、販売店までご相談ください。
  - 電池の(+)極と(−)極は正しく接続してください。
  - 電池の向きが正しく収まっていない場合は、すぐにやめて正しく入れてください。
  - 電池から漏れた液を触れてしまった場合は、すぐにうがいをし、医師の診察を受けてください。
  - 電池の液が皮膚や目に付着した場合、すぐに洗い流してください。
  - 電池を保管や廃棄する場合は、電池を他の電池や金属製のものと一緒にしないようにテープなどで端子部を絶縁してください。
- 禁止
- コネクトセンサー、マグネットについて
  - 病院や航空機内など、電波使用を禁止されている場所では本製品を使用しないでください。
  - 本製品の電波や磁力で医療機器(ペースメーカーなど)や電子機器に影響を及ぼす恐れがあります。
  - 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)、引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。
  - 加熱用機器(電子レンジなど)や高圧容器に入れないでください。
  - 充電、分解、改造、修理、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。
  - 導電性物質(金属片・鉛筆の芯など)を接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせたりしないでください。
  - 高所からの落下、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
  - 指定以外の電池は使用しないでください。
  - 通電状態では接続端子を手や指などで触れないでください。
  - 水などの液体をかけないでください。また濡れた手での使用はしないでください。
  - 水に濡れたり、落下したり、破損させたりした場合などはそのまま使用しないでください。
  - 電池は(+)を安全ピンなどでショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯したり保管しないでください。
  - 電池から液漏れや異臭があるときは、漏れた液に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
  - 電池に直接はんだ付けしないでください。
  - 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混用しないでください。

⚠注意

- 必ず行う
- 警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。
  感電やけがの原因となります。
- 禁止
- 取付位置を移動させないでください。
  警報の遅れの原因となります。
  取付位置を変える必要が生じたときは、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社にご相談ください。
- 必ず行う
- 警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
  転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。
- 禁止
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
  警報の遅れの原因となります。
- 禁止
- 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
  ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

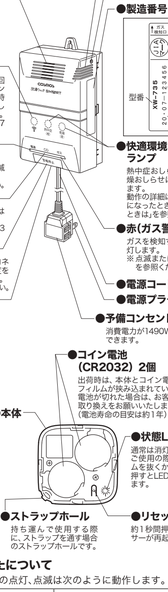
対象ガス

⚠注意

- この警報器は都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき

〈ガス・CO警報器〉



■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

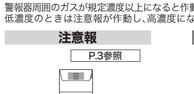
点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し(0.5秒周期)	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し(0.25秒周期)	点滅周期
ゆっくり点滅	点灯と消灯の繰り返し(2秒点灯・1秒消灯周期)	点滅周期
瞬時点滅	点灯と消灯の繰り返し(0.9秒点灯・0.1秒消灯周期)	点滅周期

警報器のお知らせ機能について

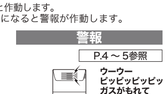
ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。

注意報



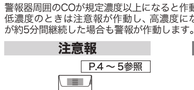
警報



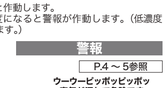
ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が5分間継続した場合も警報が作動します。)

注意報

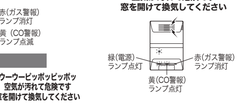


警報



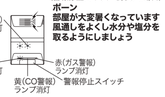
ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。



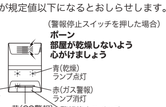
高温高湿になったときは

警報器周囲の温度・湿度が規定値以上になるとおしらせします。
※ 電源投入後1時間は、警報器を設置環境になじませるため、快適環境おしらせは作動しません。



乾燥しているときは

警報器周囲の温度・相対湿度・絶対湿度が規定値以下になるとおしらせします。
※ 電源投入後1時間は、警報器を設置環境になじませるため、快適環境おしらせは作動しません。



ドアや窓の開閉を検知したときは

設置されたコネクトセンサーを「簡易セキュリティ」にて設定を行った場合にコネクトセンサーとマグネットを設置した ドアや窓が開閉するとスマートフォンのアプリを通して警報器からお威嚇音声を鳴らすことができます。
※ アプリとコネクトセンサーにある事前の設定が必要です。
操作に関する詳細は、アプリホーム画面の左上のメニューから「お客さまサポート」をタップし、「設定について」の「確認」から操作をご確認ください。
※ 威嚇音声は5分間鳴ります。鳴動から5分経過するか、アプリの操作で音声は停止します。

故障しているときは

故障が発生すると、「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
その後に「ピッピッピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。

ただし、警報停止スイッチを押すと警報音は約36時間停止します。
緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。
※販売店までご連絡ください。
※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

有効期限が過ぎたときは

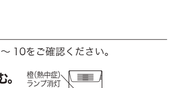
有効期限を半年以上過ぎると緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、警報停止スイッチを約1秒押すと、「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
また、有効期限を半年以上過ぎて電源を再投入すると、30秒後に「警報器正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
※販売店までご連絡ください。

警報器の使用方法

※コネクトセンサーの使用方法は P.8 ～ 10をご確認ください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。



2 電源に接続してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

※ 過去約10日以内に警報が作動した場合は、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

3「警報器正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に入ります。

※ 警報器が故障している場合は、「警報器正常です」と鳴らずに P.3に記載している故障発生時の動作となります。販売店までご連絡ください。

警報器が作動したら

1 赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

1 ドアや窓を開けて換気してください。

しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認してください。

もれたガス濃度がうすい場合に赤(ガス警報)ランプが点滅します。
CO濃度がうすい場合に黄(CO警報)ランプが点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.5 ～ 6参照)

2 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガス警報)ランプが点灯】

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などによる爆発の恐れがあります。

- **マッチやライターなど、火気を使わないでください。**
  - 火気厳禁
  - 禁止
- **換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。**
  - 禁止
- **電源プラグを抜かないでください。**
  - 禁止

1 部屋に入らないでください。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

メーターガス栓を開けるときはガス会社にご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認してください。

5 ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

3 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】

⚠危険

警報音が鳴ったら、
すぐに換気し、使用中のガス機器を止めてください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【黄(CO警報)ランプ消灯】

4 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガス警報)ランプが点灯と黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。

- **マッチやライターなど、火気を使わないでください。**
  - 火気厳禁
  - 禁止
- **換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。**
  - 禁止
- **電源プラグを抜かないでください。**
  - 禁止

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

5 部屋の外から警報音に気づいたときの処置のしかた

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、すぐに入室しないでください。

- もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられます。
- CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。
- 火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。

1 部屋に入らないでください。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

メーターガス栓を開けるときはガス会社にご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認してください。

5 ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 処置をしても、警報音が鳴りやまないときの処置のしかた

最寄りのガス会社へ連絡する。

- たびたび警報音が鳴ったときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音は1回だけ5分間止めることができます。

※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※ 警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まります。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、ご確認ください。

- 長い間開め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響をおよぼす室内の潤留成分(シリコーン や溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス(エアコンの冷媒ガスなど))の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を開め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報音が鳴りやすくなることがあります。
- 警報器を設置した状態で、十分な換気をせずに内装工事(リフォーム含む)を行っていませんか。揮発成分がセンサに影響を与え、誤報を誘発します。また、内装工事(リフォーム含む)を終えた段階でも、十分な換気が行われなかった場合、同様に事象が発生します。

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

以下の場合は、ガスもれやCOで警報しており誤報ではありません。

- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用した場合。
- ガスコンロの着火ミスがあった場合。
- 自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
- 炭火や練炭を使用した場合。

おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)が点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに換りやみますのでドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。その際、警報器の電源プラグ

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ							音声内容	事象	対応方法
緑（電源）	黄（CO警報）	赤（ガス警報）	白（通信）	橙（熱中症）	青（乾燥）				
点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯		なし	通常動作（監視中）	－
点灯	消灯	点滅	※1	消灯	消灯		なし	ガス注意報	P.3参照
点灯	消灯	点灯	※1	消灯	消灯		ガス警報音声「ワーニングビッピッピッピッ ガスがもれていますから」	ガス警報	P.4～5参照
点灯	点滅	消灯	※1	消灯	消灯		なし	CO注意報	P.3参照
点灯	点滅または点灯	消灯	※1	消灯	消灯		CO警報音声「ワーニングビッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報	P.4～5参照
点灯	点滅	点滅	※1	消灯	消灯		なし	ガス注意報とCO注意報	P.3参照
点灯	点滅	点灯	※1	消灯	消灯		ガス警報音声「ワーニングビッピッピッピッ ガスがもれていますから」	ガス警報とCO注意報	P.4～5参照
点灯	点滅または点灯	点滅	※1	消灯	消灯		CO警報音声「ワーニングビッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報とガス注意報	P.3～5参照
点灯	点滅または点灯	点灯	※1	消灯	消灯		ガス警報音声「ワーニングビッピッピッピッ ガスがもれていますから」、警報音声「ワーニングビッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ガス警報とCO警報	P.4～5参照
高速点滅	消灯	消灯	※1	消灯	消灯		故障警報音声「故障です 販売店に連絡してください（10秒ごと）」「ピッピッピッ（1分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	販売店に連絡してください
ゆっくり点滅	消灯	消灯	※1	消灯	消灯		なし	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください
点灯	消灯	消灯	※1	点灯	消灯		なし	熱中症おしらせ	P.3参照
点灯	消灯	消灯	※1	消灯	点灯		なし	乾燥おしらせ	P.3参照
点灯	消灯	消灯	※1	消灯	消灯		感電音声「ピッピッピッ セキュリティ ピー 異常を検知しました。」	感電セキュリティ検知	P.3参照

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。
※1　白（通信）ランプは、警報器の無線通信状況をお知らせします。
点灯…お客さま宅のルーターと接続できていることを示します。
消灯…お客さま宅のルーターと接続できていない状態です。
白（通信）ランプの消灯が続く場合は、ルーターとの接続確認や再設定を行ってください。

コネクトセンサーの使用方法

〈コネクトセンサーを接続してできること〉

コネクトセンサーとの設定・詳細な使用方法については、別紙の「かんたん設定ガイド」に記載しています。

専用アプリ（以下、コネクトアプリ）の設定をすることで、スマートフォン・タブレットからガス警報器の状態確認や、コネクトセンサーを使った様々なみまもりサービスを利用できるようになります。
コネクトアプリを使うには、ガス警報器とルーターとの無線ＬＡＮ接続、ガス警報器とコネクトセンサーとのBluetooth接続が必要です。

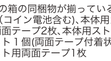
※ガス・ＣＯ警報器の設置についてはガス会社にお任せください。
※ルーターについては、
・IEEE802.11bまたは、n に対応していること(2.4GHzのみ)
・セキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」いずれかの暗号化方式と
・DHCPサーバー機能を搭載していること
上記3点をルーターの取扱説明書でご確認ください。
※コネクトセンサーとガス・ＣＯ警報器、ガス・ＣＯ警報器と無線LANルーターの無線接続設定については、お客さまにて設定が必要です。
※アプリのダウンロードと登録、警報器・コネクトセンサーの接続については、お客さまにて設定が必要です。

サービス名	設置場所(例)	サービスの概要
簡易セキュリティ	玄関のドア	コネクトセンサーの設置箇所に開閉※1があった時にコネクトアプリに通知
生活みまもり	トイレのドア	コネクトセンサーの設置箇所に一定時間以上開閉※1がなかった時にコネクトアプリに通知
帰宅確認	お子さまのランドセル	外出中（15分以上センサーアプリ設定なし）及び在宅（センサーアプリ設定あり）の状態になったことをコネクトアプリに通知
熱中症予防※2	リビングの壁	コネクトセンサー設置箇所の温度情報及び湿度情報をもとに、熱中症のおそれがあるとコネクトアプリに通知

※1　開閉は、1日あたり12８回分までの最新データをコネクトアプリ上に表示することができます。
※2「熱中症予防」は、コネクトセンサー周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し体調管理などにお役立ていただくもので、熱中症を防止できるものではありません。

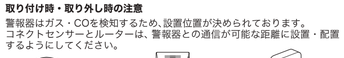
同梱物確認

コネクトセンサーの箱の同梱物が揃っていることを確認してください。
同梱物…　本体1個（コイン電池含む）、本体用カバー1個、
本体用両面テープ2枚、本体用ストラップ1本、
マグネット１個（両面テープ付着状態）、
マグネット用両面テープ1枚



取り付け時・取り外し時の注意

警報器はガス・COを検知するため、設置位置が決められております。
コネクトセンサーとルーターは、警報器との通信が可能な距離に設置・配置するようにしてください。



・コネクトセンサーと警報器は直線距離７m以内(推奨)で通信を行っています。コネクトセンサーと警報器との距離が離れていたり遮へい物があるとコネクトセンサーのデータは警報器に届きません。
・コネクトセンサーを浴室や脱衣所、コンロの近くなど、湿気が多い場所や水のかかる可能性がある場所でのご利用は故障の原因となりますので、設置しないでください。
・直射日光の当たる場所、極端に低温になる場所、ほこりの多い場所での設置はしないでください。

・コネクトセンサーを設置する際は接着面が汚れていたり、凹凸があったり、濡れているとセンサーを接着できないことがあります。また、コネクトセンサーの両面テープを剥がすときは塗装面や壁紙を剥がしてしまうことがあります。設置場所の選定やシールを貼る際や剥がす際は十分に注意ください。
・設置場所によっては落下の恐れがありますので、必ず設置後に確認を行ってください。
・コネクトセンサーの設置場所の変更や電池交換後の再設置は、必ず新しい両面テープで行ってください。

免責
・温度、湿度が頻繁に変化する場所でのご利用は正常に動作しない場合があります。
・コネクトセンサーと警報器は約１分間隔でデータ通信を行っていますので、コネクトセンサーの情報は即時に反映されない場合があります。

設定の流れについて

コネクトセンサーとコネクトアプリについて、以下の流れで設定を行ってください。

1　コネクトセンサーの利用場所を確認する
↓
2　アプリの会員情報を登録する
↓
3　ガス・CO警報器を登録する
↓
4　コネクトセンサーを設定する
↓
5　コネクトセンサーを設置する

1 コネクトセンサーの利用場所を確認する

コネクトセンサーを、ご希望の場所で利用できるか確認してください。

1.設置場所の確認機能について

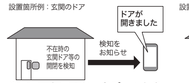
コネクトセンサーとガス警報器はBluetoothで通信します（通信距離は直線距離で約７m以内(推奨)。利用するサービスに応じた設置場所でご利用できるか、ガス警報器の音声で確認できます。

※本機能は、ガス・CO警報器の登録後はご利用できません。コネクトセンサーの利用場所を確認してから、ガス・CO警報器の登録へ進んでください。

2.利用サービスを選択する

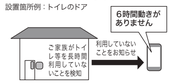
本サービスはコネクトセンサー１台につき、１つのサービスをご利用いただけます。利用するサービスを以下の4つから選んで、設置箇所を決めてください。

①簡易セキュリティ
不在時、ドアや窓が開いたことをお知らせします。
設置箇所例：玄関のドア



※スマートフォン・タブレットを操作すると警報器から成嬢音声を鳴動させることができます（P.3 ドアや窓の開閉を検知したときは）参照）

②生活みまもり
トイレや洗面所のドアが動いていないことをお知らせします。
設置箇所例：トイレのドア



③帰宅確認
ご家族の帰宅や外出をお知らせします。
設置箇所例：お子さまのランドセル

④熱中症予防
お部屋の熱中症の危険性をお知らせします。
設置箇所例：リビングの壁 / 子ども部屋 等

3.コネクトセンサーと警報器の接続を確認する

①コネクトセンサーの電源保護フィルムを抜き取り、コネクトセンサーの電源を入れた状態にします。
②ガス警報器の警報停止スイッチを「ピッピッピッ」と鳴るまで約6秒間長押し続けて、音が鳴ったら離します。
警報器が「センサの接続を確認します。センサのリセットボタンを押してください」と鳴り、白（通信）ランプが瞬時点滅します。
③「コネクトセンサー」を持って利用したい場所に移動し、コネクトセンサーのリセットボタンを押すと、LEDが点滅します。

●「接続できます」と聞こえた場合
その場所での利用が可能です。「2. アプリの会員情報を登録する」に進んでください。
●「接続できません」と聞こえた場合
先ほど確認した場所とは異なるところで③の操作を繰り返してください。
警報器の白（通信）ランプの瞬時点滅が消灯に変わった場合は、②～③の操作を行ってください。
※「帰宅確認」機能は、Bluetooth通信が届く約７m を家の中とみなすことで、コネクトセンサーを「お持ちの方が帰宅」「外出」を通知するものです。家の中でよくコネクトセンサーを置くところで操作を行っていただき、「接続できます」が鳴ることを確認してください。

2 アプリの会員情報を登録する

コネクトアプリを利用するために、お客さまのスマートフォン・タブレットで会員情報を登録してください。
※コネクトアプリは、アプリのインストールに際しスマートフォンやタブレットの画面上に表示される、サービスの「利用規約」にご同意の上でご利用いただけます。
※コネクトセンサーおよび警報器が検知・感知したデータ、利用履歴などはサーバーに送信された情報（これらを分析した情報を含む）は、カスタマーサポート対応や商品、サービスの開発、改良などの目的で利用されます。詳しくは、サービスの「利用規約」をご覧ください。
※カメラのアクセスなどアプリからの使用許可通知については、お客さまがお持ちのスマートフォン・タブレットによって通知の有無や通知内容が異なる場合があります。

1.アプリをインストールする

コネクトセンサーを利用するためには、スマートフォンやタブレットにコネクトアプリをインストールする必要があります。
右記の二次元コードを読むか、iPhoneやiPadなどのiOS端末の場合はApp Store、AndroidスマートフォンやタブレットのGoogle Playにアクセスして「コネクト CONNECT」をインストールします。バージョン情報などアプリの詳細については、アプリ紹介の各説明画面をタップしてご確認ください。
※製作元：ENCORED JAPAN Inc.

こちらよりアプリをダウンロード

2.会員情報を登録する

①インストールされたコネクトアプリを起動します。
②新規登録画面になりますので、「メールアドレスもしくは電話番号」と「パスワード」を入力し「登録」をタップします。
※入力されたメールアドレス」または「携帯電話番号」に確認コードのご案内が届きます。
③確認コードご案内のメールに記載されている「確認コード」を入力し、「認証」をタップします。
④「コネクト」がカメラへのアクセスを求めています」と表示されるので「OK」をタップします。
⑤「「コネクト」は通知を送信します。よろしいですか？」と表示されるので「許可」をタップします。
⑥登録ＩＤを入力します。
取扱説明書などが入っている袋に同梱されている登録ＩＤシールもしくはガス警報器の背面の二次元コードを読み取ってください。
※二次元コードが読み取れない場合は、画面下の「お客さまＩＤ手動登録」をタップし、シールに表示された2１桁の登録ＩＤを直接入力「登録」をタップしてください。

〈お願い〉
袋に同梱されている製品登録用の二次元コードが表示されたシールは、再度登録するときに使用します。無くさないよう大切に保管ください。
⑦画面に表示される利用規約をよくお読みの上、「利用規約に同意」をタップし「次へ」をタップします。
⑧プロフィール情報を入力し「始める」をタップします。
「新規会員登録」が完了します。

3 ガス・CO 警報器を登録する

お客さまのスマートフォン・タブレットの「Bluetooth」を使用して、お客さまのルーターを検索し、警報器を登録します。
※スマートフォン・タブレットの「Bluetooth」を「ON」にしてください。
※Android端末では、Bluetooth利用時に「位置情報」を「ON」にしてから、「アプリへの「位置情報」の許可」を行うことが必要な場合があります。

ガス・CO警報器をご自宅のルーターに接続する

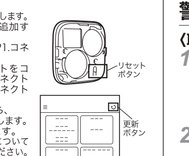
①ガス・CO警報器が設置されていることを確認します。
ガス・CO警報器の近くでご自宅のルーターが正常に動作していることを確認してください。
②コネクトアプリのガス警報器登録画面から「登録開始」をタップします。
ガス・CO警報器と接続されるまで少し時間がかかります。
③Wi-Fi選択画面が表示されますので、ご自宅のルーターを選択します。パスワードの入力画面が表示されたら、ご自宅のルーターのパスワードを入力し「Wi-Fi設定」をタップします。
④ガス警報器がルーターに登録されると「ガス機器登録完了」「次へ」「ホームへ」と表示されます。
「ホームへ」をタップした場合：次項の①「サービス追加」のタップから操作を行ってください。
「次へ」をタップした場合：次項の③「STEP1.コネクトセンサー登録へ」のタップから操作を行ってください。

4 コネクトセンサーを設定する

お客さまのスマートフォン・タブレットの「Bluetooth」を使用して、コネクトセンサーと接続し、警報器との登録を行います。
※スマートフォン・タブレットの「Bluetooth」を「ON」にしてください。
※Android端末では、Bluetooth利用時に「位置情報」の許可が必要な場合があります。

コネクトセンサーを登録する

①アプリのホーム画面で「サービス追加」をタップします。
②機器追加画面でコネクトセンサーの「追加する」をタップします。
③コネクトセンサー登録画面下部の「STEP1.コネクトセンサー登録へ」をタップします。
④お客さまのスマートフォン・タブレットをコネクトセンサーの近くに持っていき、コネクトセンサーの「リセットボタン」を押し、コネクトセンサーと接続されるまで待機します。
⑤コネクトセンサー登録完了と表示されたら、「STEP2.コネクトセンサー設定へ」をタップします。
⑥設定するサービスに応じて設定を行います。
各サービスの詳細とアプリ内での設定方法については、別紙の「かんたん設定ガイド」をご参照ください。
⑦アプリの「ホーム」をタップし、画面上で、ガス警報器やみまもりサービスが以下の状態で表示されていることを確認してください。
・ガス警報器「正常に動作しています」
・ガスセンサ「監視中」
・COセンサ「監視中」
・熱中症/乾燥おしらせ「監視中」
・コネクトセンサー…サービスに応じた表示内容
※必要に応じて画面右上の更新ボタンを押して、各表示を最新の状態に更新してください。

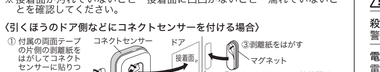


5 コネクトセンサーを設置する

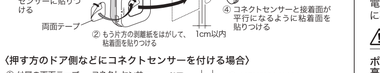
設定したサービスによって設置物と設置場所が異なります。

■「簡易セキュリティ」「生活みまもり」
コネクトセンサーとマグネットを設置する
コネクトセンサーの裏面の「MAGNET▲」の文字が、マグネットの方向を向いていることを確認して、コネクトセンサーとマグネットをドアの開閉部に貼り付ける。
※接着面が汚れていないこと・接着面に凹凸がないこと・濡れていないことを確認してください。

〈引くほうのドア側などにコネクトセンサーを付ける場合〉

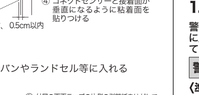


〈押す方のドア側などにコネクトセンサーを付ける場合〉



■「帰宅確認」
コネクトセンサーをご家族が使用するカバンやランドセル等に入れる
※ご自宅への設置の必要はありません。

■「熱中症予防」
コネクトセンサーを設置する
コネクトセンサーを、以下の手順を参照して、リビングの壁などに設置します。
リビングの壁等の設置したい場所にコネクトセンサーを貼り付ける。
※接着面が汚れていないこと・接着面に凹凸がないこと・濡れていないことを確認してください。



コネクトアプリで「Wi-Fi再設定」「ガス警報器初期化」を行ったときは

コネクトアプリで「Wi-Fi再設定」「ガス警報器初期化」を行う際、警報器の警報停止スイッチを押して、警報器からルーターの情報を消去する必要があります。
①コネクトアプリの「ガス警報器設定」画面から
「Wi-Fi再設定」または「ガス警報器初期化」を選択してください。
②警報停止スイッチを「ピッ ピッピッ ピッピッピッ ピー」と鳴るまで押してください。
白（通信）ランプが点滅し、ルーターとの接続が切断されます。
③コネクトアプリの画面に従って「Wi-Fi再設定」または「ガス警報器初期化」を完了させてください。

コネクトセンサーの電池交換について

コネクトセンサーはボタン電池（ＣＲ２０３２）で動作しています。電池が無くなった場合はお客さまにて交換をお願いいたします。
※アプリのホーム画面左上のメニューから「機器情報」をタップすると、コネクトセンサーの電池残量を確認することができます。
※電池を交換されるときは、新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混用しないでください。

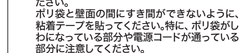
お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

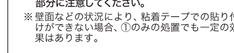
《お断わり》
警報器の電源を抜いている間は、コネクトセンサー・警報器の情報をアプリで表示することはできませんので、ご了承ください。

2 警報器を取り外してください。(P.10参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

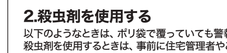


●警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
●電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。



おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガス警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



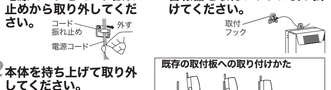
4 警報器を取り付けてください。(P.10参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
警報器の動作については、P.3「警報器の使用方法」をご参照ください。

警報器の取り外し・取り付けかた

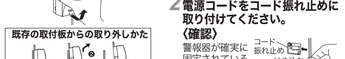
〈取り外しかた〉

1 電源コードを固定できますまで取り外してください。



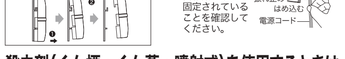
2 本体を持ち上げて取り外してください。

既存の取付板からの取り外しかた



〈取り付けかた〉

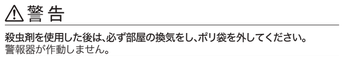
1 警報器を取付フックに引っ掛けてください。



既存の取付板への取り付けかた

2 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。

〈確認〉
警報器が確実に固定されていることを確認してください。



殺虫剤（くん煙・くん蒸・噴射式）を使用するときは

殺虫剤の噴射式に反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠警 告

殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ボリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をボリ袋で覆わずに殺虫剤を使用すると、使用後に再び電源プラグを差し込んだときに警報器が鳴ることがあります。

⚠注 意

ボリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

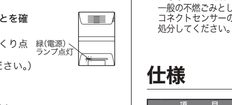
1.警報器をボリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

〈準備するもの〉
●ボリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（PPまたは>PP<と表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●ひも（1本）
●粘着テープ

〈処置のしかた〉
①警報器を取り外してください。(P.10参照)



②警報器にボリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

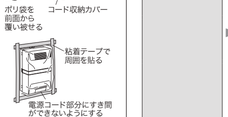
③ボリ袋と電源コードの間に除開ができないように、ボリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

④ボリ袋を傷のないように、警報器を安定するところに置いてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

〈準備するもの〉
●ボリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（PPまたは>PP<と表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●輪ゴム（3本）
●粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

〈処置のしかた〉
①ボリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。
②ボリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。
ボリ袋と壁面の間にすき間ができないように、粘着テープを貼ってください。特に、ボリ袋が丸いになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。



故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
緑（電源）ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。（機器故障音声機能）
緑（電源）ランプがゆっくり点滅している。	警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを１秒間押してください。	「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴りますので、新しい警報器に交換（有償）してください。（有効期限切れ音声機能）
ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.5～6参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。それでも止まらない場合は、電源プラグを抜き、最寄りのガス会社へ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。（有償）
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが１秒間点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.3参照)
電源を入れたときや、警報停止スイッチを１秒以上押したときに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限が切れています。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.3参照)
●コネクトセンサーと警報器が接続されない。 ●警報器が「接続できません」と鳴る。	警報器を確認してください。	警報器の電源が入っていることを確認してください。
		警報器の警報停止スイッチを押し、「センサの接続を確認します。センサのリセットボタンを押してください」と鳴ることを確認してください。 警報器の白（通信）ランプが瞬時点滅（0.9秒点灯、0.1秒消灯）していることを確認してください。
	コネクトセンサーを確認してください。	電池が入っていることを確認してください。
		出荷時に電池に挿入されている電源保護フィルムが抜かれていることを確認してください。
		ご使用されてから時間がたっている場合は、電池が切れていないか確認してください。 ※電池寿命の目安は、約１年です。
		警報器との距離が離れすぎていないことを確認してください。 ※警報器との通信距離は、直線距離で約７m 以内（推奨）です。
		コネクトセンサーと警報器の通信はBluetoothによる無線通信です。同じような周波数の電波を発するもの（電子レンジなど）があると電波干渉が起こる可能性があります。また、警報器との間に鉄の扉など電波を通さないものがあると、通信が確立しないことがあります。周囲の通信環境を確認してください。
ガス警報器登録後、表示画面に「故障です。販売店に連絡してください」と「故障しています」など異常表示が出る。	警報器が緑点滅し「故障です 販売店に連絡してください」と鳴っているような場合は、警報器が故障しています。販売店または最寄りのガス会社に連絡してください。	

※コネクトセンサーの設置や設定については、別紙「かんたん設定ガイド」もご参照ください。

廃棄について

⚠注 意

必ず行う

警報器本体のネットワーク情報を初期化して廃棄してください。初期化の方法は P.10「コネクトアプリで「Wi-Fi再設定」「ガス警報器初期化」を行ったときは」をご参照ください。また、警報器の廃棄後や、スマートフォンなどの端末を譲渡、廃棄、機種変更等で手放される際は、アプリのアンインストールを行ってください。
警報器はルーター情報（SSIDやパスワード）を記憶しており、情報を残したまま廃棄されると、お客さま宅のネットワーク機器情報が不正に取得されるおそれがあります。

●リース品の場合
有効期限の過ぎた警報器とコネクトセンサーは、販売店に回収いたします。

●お買い上げ品の場合
一般の不燃ごみとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。コネクトセンサーのコイン電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の指示に従って処分してください。

仕様

項目			仕様
共通仕様	対象ガス		都市ガス（空気より軽い12A・13A ガス用）
	警報音量		吹鳴時ガス中のCO
	検知方式		70dB(A)/m以上
			半導体式
ガス警報機能・CO警報機能	都市ガス	ガス検知	作動条件	爆発下限界濃度の1/4 ガス都市ガスに対し 60 秒以内に警報
			表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点灯
				音声合成警報音
		ガス注意報	作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
			表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点滅
				発報音無し
	燃焼排ガス中のCO	CO警報	作動条件	550ppm の CO に対し　５分以内に警報
				300ppm の CO に対し　15分以内に警報
			表示・発報方式	黄（CO 警報）ランプ点灯または点滅
				音声合成警報音
		CO注意報	作動条件	300ppm の CO に対し　５分以内に注意報
			表示・発報方式	黄（CO 警報）ランプ点滅
				発報音無し
	一般財団法人日本ガス機器検査協会（ＪＩＡ）都市ガス用ガス警報器検査規程認証合格品		
	電源		ACＩ00V±10V　50/60Hz
	消費電力		監視時　約1.3W、警報時　約2.0W
	無線部		【警報器】ルーター 準拠規格：IEEE 802.11 b/g/n、使用周波数帯域：2.4GHz、セキュリティ：WPA2(WPA-Personal/WEP※1)、Wi-Fi設定方式：情報端末でのルーター情報入力による手動設定 【警報器⇔コネクトセンサー間】 準拠規格：Bluetooth 4.2、使用周波数帯域：2.4GHz
	温湿度検知方式		温度：バンドギャップ式、湿度：静電容量式
	付属機能		通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲		0℃～＋50℃（結露しないこと）
	寸法・質量		幅65×高さ125×奥行き32.5mm（突起部を除く）、約260ｇ
	電源コード		長さ　2.5m(約2.2mは警報器背面に巻取可能) 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）
	付属品		コード振れ止め×３、木ねじ（φ3.1×10mm）×３、木ねじ（φ3.1×16mm）×１、取付フック×１、ビス（φ4×20mm）×10、取付板×１、コード収納カバー×１、輪ゴム（3本）×１、施工説明書×１、かんたん設定ガイド×１、登録ID シール×１
コネクトセンサー	型番		SEN1-FLG
	電源		コイン電池(CR2032)2個　※電池寿命の目安：約１年
	使用温度範囲		0℃～ +40℃（結露しないこと）
	無線部		Bluetooth 4.2
	通信認証		209-J00204
	内蔵センサー		開閉センサー、温度センサー、湿度センサー
	寸法・質量		幅47.3×高さ47.3×奥行き12mm、約20ｇ
	付属品		本体1個（コイン電池含む）、本体用カバー１個、本体用両面テープ2枚、本体用ストラップ１本、マグネット１個（両面テープ付着状態）、マグネット用両面テープ1枚
コネクトアプリ対応端末			iOS、Android

☆　爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。
※1　警報器と接続するルーターのセキュリティに関する設定は「WPA／WPA２」「WPA２」「WPA」の暗号化方式としてください（「WEP」の暗号化方式にも対応しておりますが、情報セキュリティの観点から推奨いたしません。）

アフターサービスについて

■この警報器は、５年間の無償保証です。
コネクトセンサーは、１年間の無償保証です。
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器、コネクトセンサーが正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
ただし、保証書に